

# 大和川を例として 河川水辺の国勢調査を身近に

子供向けの学習資料やSNSなどを活用した情報発信の取り組み

キーワード 河川水辺の国勢調査, 広報資料, 環境学習, 生物多様性, 環境保全, 底生動物, 水質改善, 河川環境

西日本国土保全コンサルタント技術部 池田 欣子・沖野 友祐・見瀬 浩子  
稲元 快・白笠 祐甫

## はじめに

国土交通省が実施している河川水辺の国勢調査（水国調査）は、河川環境に関する基礎的な情報を収集する重要な取り組みです。本業務はその一環で、大阪府・奈良県を流れる大和川における底生動物調査を実施し、大和川の底生動物と河川環境との関係を把握しました。

大和川は、かつて日本で2番目に水質汚濁が深刻な川といわれていましたが、河川事務所や地域の人々の努力の結果、水質を大幅に改善することができた背景があります。

これら大和川に生息する底生動物や水質改善の歴史につ

いて、調査結果を通じて子供たちに親しんでもらい、環境保全や河川事業、それに関わる職業等に興味を持ってもらうことを目指し、学習・広報資料を作成しました。ここでは大和川に生息する底生動物や河川環境について、遊びや環境学習を通して知ってもらうために考案した「底生動物カード図鑑」や「環境学習シート」、より多くの人々に広く発信するためのSNSおよびYouTubeといったさまざまな媒体向けに作成した資料を紹介します。

## 底生動物カード図鑑

学校などの学習の場だけでなく、遊びの中で河川環境に興味を持ってもらえる学習資料として、カード形式の底生動物図鑑を作成しました（図1）。掲載種は、これまでに大和川で実施された調査で確認された約380種の底生動物のうち96種について、写真・生態的な説明の他、確認のしやすさ（レアランク）や、生態的特徴を基にした「必殺技」など、カードゲームの視点も加えることで、遊びを通して底生動物

について学べる資料としました。

また、カードゲームとしての遊び方や、環境学習時の活用方法の資料も作成し、すぐに使ってもらえるように工夫しました。カードは耐水紙とし、水辺で利用しやすいものとなりました。さらに、誰でも印刷して使えるよう、市販の名刺用紙に印刷可能なレイアウトも作成しました。

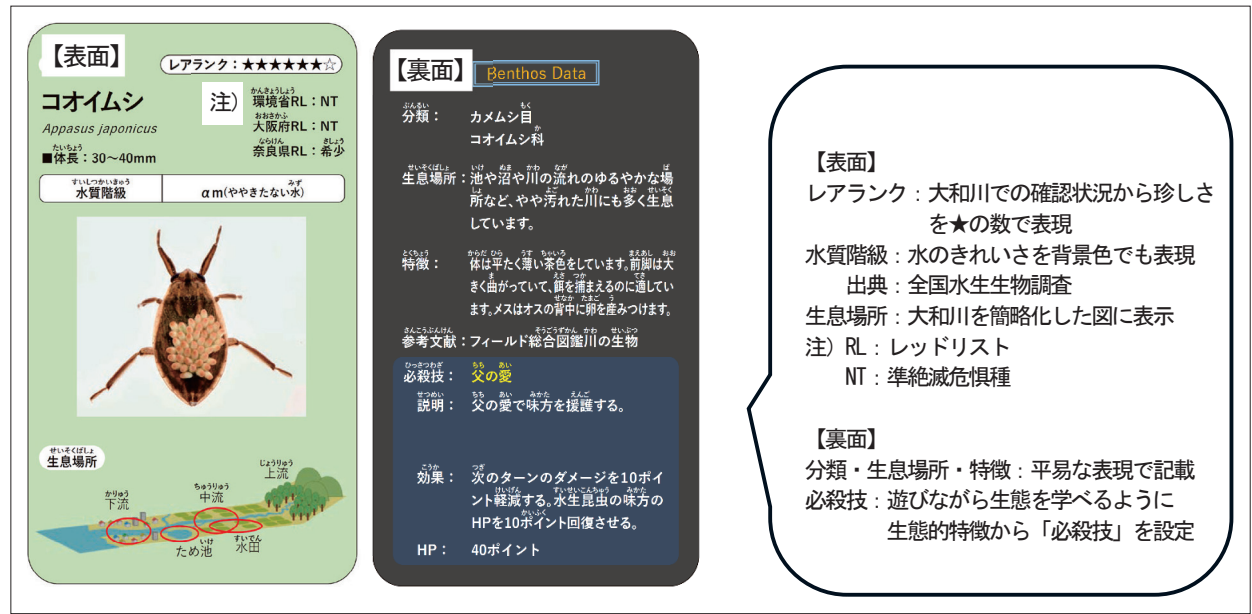


図1 底生動物カード図鑑の例

## 環境学習シート

環境学習シートは、観察会など環境学習での活用を想定し、ラミネート防水処理をして、水辺で活用しやすいものとなりました（図2）。大和川で確認された底生動物の生体写真や顕微鏡写真、底生動物が生息している環境写真、種類ごとの水質階級を掲載し、イラストも多用することで、実際の

環境や底生動物と見比べながら利用できる資料としました。また、重要種の「珍しさランキング」を掲載し、現地で確認した重要種がどのくらい貴重であるか、子供が楽しめるよう工夫しました。



図2 環境学習シートの例（左：大和川の環境、右：種ごとの生息場所の水質階級および珍しさランキング）

## SNS および YouTube を活用した情報発信

大和川河川事務所はFacebook、Instagram、YouTubeなどの公式アカウントで、さまざまな情報を発信しています。そこで、幅広い層に興味をもってもらえるよう、現地調査終了後にSNS（Facebook、Instagram）で、タイムリーな情報発信を行いました（図3）。大和川河川事務所のマスコットの「かっぱるくん」をイメージキャラクターとし、掲載内容は、「どのような底生動物・重要種が生息しているのか」といったシンプルな内容としました。

YouTube 掲載用には、3分程度の水国調査の紹介動画を作成しました。水国調査の紹介、調査実施風景、採集し

た底生動物、水質汚染の著しかった川からどのように水質を改善したか、水質改善のための事務所の取り組みとその効果などの構成としました。



図3 SNSおよびYouTube動画の一例（左、中：YouTube 右：Instagram）

## おわりに

本業務では、大和川における底生動物を調査し、その結果を用い、子供たちが遊びながら河川環境に興味を持てるように、学習・広報資料を作成しました。河川水辺の国勢調査では、魚類や鳥類、植物などの調査も行われています。

今後もこれらの調査結果を用いて多くの人に手に取ってもらえるような広報資料を作成することで、地域の人々が河川環境や河川事業への興味や理解を深めてもらえるような提案をしていきます。